

2023年度入学生用

環境デザイン学科 履修モデル

※履修モデルはあくまでも目安です。また、このモデルでは履修単位数は最低限度で設定しています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

科目名の後の（ ）は修得できる単位数　／＊必修科目　＃選択必修科目					
		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	学修基礎 (4単位以上)	スタディスキルズ（1） 日本語表現Ⅰ（＊2） キャリアデザインA（2）など	キャリアデザインB（2）など	キャリアデザインC（2）など	
	芸術・デザイン (4単位以上)	1科目（2単位）以上	2科目（4単位）以上	1科目（2単位）以上	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	1科目（2単位）以上	1科目（2単位）以上	1科目（2単位）以上	
	科学・身体 (4単位以上)	1科目（2単位）以上	2科目（4単位）以上	1科目（2単位）以上	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ（＊1） 基礎英語Ⅱ（1）など	2科目（4単位）以上		
専門 教育 科目	芸術工学基礎 (20単位以上)	芸術工学概論（＃2） 図学・製図基礎実習（2） コンピュータ基礎実習（2） デッサン基礎実習（2）など 6科目（12単位）以上	3科目（6単位）以上	1科目（2単位）以上	
	必修 (31単位)	環境デザインとはⅠ（＊2） 環境デザインとはⅡ（＊2） 建物のしくみ（＊2） CAD基礎演習（＊2） 環境デザイン基礎演習Ⅰ（＊4） 環境デザイン基礎演習Ⅱ（＊2）	環境デザイン実習Ⅰ（＊5） 環境デザイン実習Ⅱ（＊5）	環境デザイン実習Ⅲ（＊5）	<リノベーション　コース> 環境デザインプロジェクトA（＊2） <建築　コース> 環境デザインプロジェクトA（＊2） <ランドスケープ　コース> 環境デザインプロジェクトA（＊2） <まちづくり　コース> 環境デザインプロジェクトA（＊2）
	選択必修 (5単位)			<リノベーション　コース> リノベーション総合実習（＃5） <建築　コース> 建築総合実習（＃5） <ランドスケープ　コース> ランドスケープ総合実習（＃5） <まちづくり　コース> まちづくり総合実習（＃5）	
	選択 (22単位以上)	学科入門セミナー（1） 都市の歴史と住まいのかたち（2） 環境デザイン特別講義D（1）　など	建築空間のデザイン（2） 建築空間のプランニング（2） 建築と熱・光・空気のデザイン（2） 建築構造入門（2） 力の流れと安全（2）　など	環境制御の技術（2） 構造デザインの実践手法（2） 構造・材料ワークショップ（2） 施工の技術（2） 建築と法規（1） リノベーションの理論と実践（2）	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究（＊10）

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年	2年	3年	4年	計
基礎教育科目	36	13	16	8		37
専門教育科目 芸術工学基礎	20	12	6	2		20
専門教育科目 必修	31	14	10	5	2	31
専門教育科目 選択必修	5	—	—	5		5
専門教育科目 選択	22	4	10	11		25
専門教育科目 卒業研究	10	—	—	—	10	10
合計	124	43	42	31	12	128

※「環境デザインプロジェクトA(＊2)」は、必修科目ですが、建築士対応科目ではないので注意ください。

※「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。

※基礎教育科目は、各科目区分毎に定められた単位数を修得し、基礎教育科目の必要単位数を満たしてください。

※芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「工芸史」「現代美術」のいずれか4単位必修です。

※「環境デザインとはⅠ」は、E学科生においては専門教育科目の必修区分科目のため、芸術工学基礎区分には算入できないので注意してください。

※一級建築士受験資格（実務経験2年で受験する場合）を得るには、所定の必要な各区分科目及び単位数を修得し、合計60単位が必要となります。詳しくは、CAMPUS GUIDE 2022を参照してください。